

上田高等学校 関西同窓会報

第56号
2023年(令和5年)
1月17日(火曜日)
編集発行
上田高等学校関西同窓会

第32回総会開催 リモート3年連続



Zoom上に集まった同窓生たち

第32回総会は9月3日土曜日にオンラインのみで開催されました。今年は対面とリモートの併用の総会の予定でしたが、新型コロナウイルスの第7波の影響で、直前になってリモートだけの総会となりました。今回もご来賓として、金子元昭本部理事長(メッセージ参加)、手塚和幸本部事務局長、近藤正昭関東同窓会会長、武村洋治中南信支部顧問のご参加をいただき、総勢25名の参加でした。議長は60期の石沢誠司氏にお願いし、議事は滞りなく進み、すべての議題にご賛同いただいたことをご報告いたします。今回は特に役員人事が大きな議題で、会長等の交代がありました。竹内前会長、石沢前顧問永い間ありがとうございました。

総会のご講演は聖路加国際病院副院長 小宮山伸之先生(74期)にお願いしました。

コロナ禍の医療ひっ迫も含め、「日本の医療の現状と今後について」と題し、大変わかりやすくお話しいただきました。公私ともご多忙の中、ありがとうございました。

講演会

日本の医療の現状と今後について考えること

聖路加国際病院 副院長・聖カタリナ病院 理事長 小宮山 伸之 氏 (74期)



専門は循環器内科で、心臓・血管などを診て心臓カテーテル手術も行いますが、総合内科専門医として内科全般も受け持っています。今日は、総論的なお話しをさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の現状は、第7波の真最中で、当院でも重症患者を治療していますが、肺の組成に大きなダメージを与えるなど、インフルエンザとは明らかに違いますので、その点を十分に認識していただく必要があります。

コロナ禍で起きていることの一つに、「通常救急医療の破綻」があります。コロナ患者だけでなく、一般救急患者を受け入れられずに救急車中で死亡するということが起きています。これは、一面では病床機能コントロール政策の限界を表しているともいえますので、コロナに限らず今後の感染症対策の教訓として活かすべきだと思います。

これは、一面では病床機能コントロール政策の限界を表しているともいえますので、コロナに限らず今後の感染症対策の教訓として活かすべきだと思います。

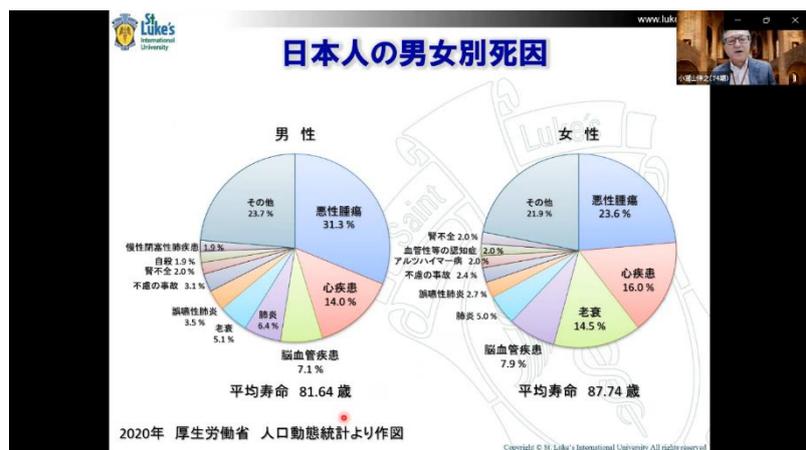
治療法の進歩

日本人の死因の推移について見てみます。最も多いのは、悪性新生物、つまり癌です。次に心疾患、そして三番目に老衰が脳血管疾患を抜いて増えています。

これを男女別にみると、男性は悪性腫瘍(31.3%)、心疾患(14.0%)、脳血管疾患(7.1%)の順ですが、女性は、悪性腫瘍(23.6%)、心疾患(16%)、老衰(14.5%)です。平均寿命はどんどん延びており、男性81.6歳、女性87.7歳です。

癌の種類別の5年相対生存率の推移をみると、ほとんどの癌の生存率が延びていますが、背景には、癌治療の進歩があります。

これまでは、血液やリンパ性悪性疾患を除いて、開腹手術などで癌組織の切除を行っていましたが、今は患者への負担を軽くするために、内視鏡や腹腔鏡・胸腔鏡などにより開腹しない手術が増えています。また、ロボットアームは人間の指以上に細かな動きができるため、深い患部まで届くなどの利点があります。そろそろ国産のものが販売されそうな状況です。



さらに、化学療法や放射線療法の進歩にも大きなものがあります。

一方、癌患者が高齢化するにつれ、心血管疾患の合併率も増加しており、対策が必要になってきました。そこで、「腫瘍循環器病学」という新たな領域が認知され、私も癌の専門医とともに取り組んでいます。

高度医療の地域間格差

さて、私の専門領域の心臓の話に移ります。

まず、心不全の定義ですが、「心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」です。

日本では、団塊の世代が後期高齢者になる「2025年問題」があるとされます。大阪市と上田市の高齢化率の推移を見てみましょう。

大阪市は、2020年：26.3%、2025年：26.3%、2045年：32.4%ですが、上田市は、大阪市の比べて若年人口の減少が著しいため、2020年：31.3%、2025年：32.3%、2045年：39.1%と推計されています（全国平均は、2020年：28.9%、2025年：30.0%、2045年：36.8%）。

心不全は高齢になるほど多いのですが、最近では120万人にもものぼり、「心不全パンデミック」という言葉も出てきました。



では、こういった病気が心不全の原因となるのかというと、高血圧症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症などがあります。急性心筋梗塞は、血栓によって冠動脈が突然詰まって心筋が壊死を起こすことで、急性心不全に至ることがあります。

急性心筋梗塞は、カテーテル治療を発症12時間以内にしなければ心臓がもちません。病院

に到着して90分以内に行うとされています。この40年間で、急性心筋梗塞の院内死亡率は、40%から5%に低下しましたが、ここからがなかなか下がっていません。

また、急性心筋梗塞や脳卒中の死亡率には地域間格差があります。大阪市の死亡率は、男女ともに全国平均より低く、一方、上田市は男女ともに高い位置にあります。治療ができる病院に到着するまでの時間が、地域によって異なるためであるということは明らかです。

AIやIoTの活用

最近では、医療においてもAIやIoTが応用されています。

例えば、病院の診療内容について、ビッグデータとして扱い、診断方法や治療法を選択する際にAIを利用することによって、専門医がいなくても診断ができるようになってくることなどで、地域の医療格差の解消などが期待できます。さらに、ゲノム医療や医薬品開発にも役立ちます。

また、IoTの活用で、オンライン診療やオンライン・ロボット手術への道も開かれようとしています。皆さんの中にも、腕時計型などのウェアラブル端末で健康状態を計る方もいるかもしれませんが、アメリカでは政府が認める医療機器とされていて、日本でも保険が使えるような診断方法として重要になるでしょう。

聖路加国際大学では、主に看護師の養成をしていますが、「テレナーシングシステム」というものが研究されています。タブレット端末を患者さんに貸し出して、オンラインで様々な

データを送ってもらい、病院に来てもらわずに診察ができるという構想です。

患者の意思決定

いま、快復が望まれない状態になったときのために行われている「Advanced Care Planning (APC)」というものがあります。患者自身が、医療面で今後どうしてほしいのかを、家族・医療従事者とあらかじめ話し合っただけで決めるものです。当院では、「リビング・ウィル」というシートで、患者の意思を事前に確認していますが、皆さんもぜひ意識してください。

今日は広範囲の話をしました。何らかのご参考にしていただけたら幸いです。

(以上、抄録 文責：荻原靖)

上田高校 NOW

2 学年研修旅行から考 えること

上田高等学校長 北澤 潔

関西同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育活動について、ご理解とご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、第55号の会報で「2学年の台湾研修旅行については、3月に中止を決定し、京都・奈良方面への研修旅行に変更しました。何とか実現可能性の高い計画を、ということで早期に行先の変更を決断した」旨、書かせていただきました。11月21日(月)から24日(木)までの3泊4日の旅行ですが、現2年生は、中学時代に新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行を体験していない生徒たちです。生徒だけでなく保護者等の皆様も何とか旅行に行きたい、行かせたいという思いが強く、「学級閉鎖」等で旅行に出発できないという事態を回避するための対応をとって、何とか出発地である上田駅に参集することができました。学年の行事实施のために、ここまで配慮しなければならないほど、学校生活における新型コロナウイルス感染症の影響は、まだまだ大きいといえます。

しかし、現在は、行動制限をかけて感染を回避する対応をとるのではなく、感染者が仮に入り込んでいた



としても感染しない、感染を拡大しないように、十分な感染防止対策を講じてできるだけ実施する、という対応に変わってきましたし、私たちもそのような対応を心がけています。いざとなれば、すぐにオンライ



ン学習に切り替えることができる環境が整備されたことも大きいといえます。いずれにしても、2年生は、皆様の地元である古都京都・奈良をおそらくは初めて訪問し、その歴史と文化の雰囲気を堪能したものと思います。

今回は、毎回触れているWWLコンソーシアム構築支援事業に係る内容をあえて避けましたが、「探究的な学び」を通じて、今の不確実な社会に対応できる人材の育成に努めていきたいと考えていることに変わりありません。

関西同窓会の皆様には、引き続き本校のこれからの姿に注目していただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

上田高校の近況報告

同窓会係 伊藤 浩治 (77期)

コロナ禍、教育活動に様々な制限が設けられる中過ごしてきた約3年余り、ようやくその長いトンネルの出口が見えてきたのではないかと感じられます。そんな、令和4年度の本校の様子を振り返ってみたいと思います。

生徒会行事では、第65回松尾祭が、7月1日～3日まで、3日間の日程で開催されました。コロナにかかわる様々な規制のある中、感染対策を行ったうえで、しっかりと準備を重ね、全校生徒にとって、達成感があり楽しめる文化祭とするためには、どのような企画の在り方が必要なのかを、松尾祭実行委員長を中心に練り上げ、実施しました。今年の文化祭テーマ、「一祭合祭」に込められたその思いとおおり、生徒一人ひとりにとって、より参加感を持つことのできた内容となったのではないかと思います。今後も、しばらくはウィズコロナの状況が続くと予想される中、生徒会行事の在り方に一つの方向性を示すことができたのではないのでしょうか。

次に、WWLの取り組みについてです。今年度は、WWL事業も最終年度となり、まとめの段階になりました。コロナ対応のため、対面での各種行事がオンラインでの開催を余儀なくされる中、6月11日には、「信州WWL高校生国際会議」が、本校をホスト校として開催されました。参加校数は県内外から21校を数え、アメリカ、台湾をはじめとする海外等からのオンライン参加も含め、およそ120名の参加者によって、活発な



議論が交わされました。会議中は、ほとんど英語をベースに議論が進む中、本校生が積極的に発言をしていた姿は、とても頼もしく感じられました。WWLの取り組みは、今年度で一段落となりますが、これまで培ってきた、経験や成果は、今後の本校教育活動のレガシーとして、受け継がれていくことと思います。

班活動では、今年度は文化班の活躍が目立つ年になったと思います。特に、放送班、3年2組の甘利陽向さんは、7月28日に行われた、第69回NHK全国高校放送コンテストのアナウンス部門において、全国3位に相当する、優秀賞に輝きました。これは、長野県勢としては、実に18年ぶりの快挙ということです。この他にも、書道班、ダンス班、新聞班、混声合

唱班、美術班、文芸班などが、全国総文祭及び、全国大会でその力を発揮してきました。また、定時制でも、バトミントン部3年の柳澤優唯さんが、シングルスで県大会準優勝し、全国大会に駒を進める活躍を見せました。

まだまだ、たくさんの制約がある中ですが、生徒はそれぞれに頑張っています。コロナの足枷が早く取れて、一日も早く、その力が存分に発揮される日が来ることを願いつつ、報告とさせていただきます。



新年のご挨拶

会長 荻原 靖 (74期)

新年おめでとうございます。

昨年9月3日に開催されました関西同窓会第32回総会において、皆様にご推挙いただき、伝統ある関西同窓会の会長を拝命いたしました。微力ではありますが、職責を全うする所存ですので、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

竹内俊隆前会長には、在任6年のうち2年半余を新型コロナウイルス感染症のもとで取り組まざるを得ず、たいへんなご苦勞をされましたが、引き続き監事としてご指導いただけますこと、心強く思います。

また、石沢誠司前顧問におかれましては、会長を含め長年ご尽力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

年が明けたというものの、国内外の社会環境の厳しさに変わりはありません。関西同窓会の活動も、社会の変化に対応しつつ、さらに同窓会の独自課題である若年層の参加促進を含めて取り組みを強めていかねばなりません。

本年も関西同窓会にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

上田高校関西同窓会令和3年度 活動報告

(令和3年9月1日～令和4年8月31日)

令和3年

9月4日(土) 第31回関西同窓会総会・講演会を開催 参加者26名

(ZOOMによるオンライン会議採用)

講演会「新型コロナ 本当の『真実』とは？」

講師：大阪大学名誉教授 免疫学専門 宮坂昌之氏

10月28日(木) 1年生対象社会講座への協力

ビジネス・都市分野 伊藤清志氏(71期)

テーマ：日本一でなくても世界一になれる

11月6日(土) 秋の文化交流会 参加者 10名

『紅葉の名所 二上山山麓の古刹 当麻寺・石光寺を巡る』

上田高校同窓会会員大会と中南信支部総会では中止となり、代表者派遣は無し。

令和4年

1月17日(金) 関西同窓会報第54号発行

会報を電子化しメールのある会員にPDFファイルを送信した。メールのない会員および紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付した。

本部および他支部には、PDFファイルを送信した。

1月22日(土) 第1回役員会(ZOOMによるオンライン会議採用)。出席者8名。

2月5日(土) 第15回文化サロン → 下記を企画するも、コロナ感染拡大により中止

『西洋中世美術史を学ぶ古都巡りの旅』

講師：武舎 一夫氏(73期) 関西同窓会文化委員長

5月14日(土) 第2回役員会。出席者8名。(ZOOMによるオンライン開催)

7月9日(土) 第3回役員会。出席者7名。

7月17日(金) 関西同窓会報第55号発行(コロナの状況見極めのため発行を遅らせた。)

発行部数は500部(関西同窓会会員430部、事務局用70部)

本部・関東同窓会・北海道同窓会・各支部へはPDFファイルを送付

8月6日(土) 第4回役員会。出席者7名。(ZOOMによるオンライン開催)

○30周年記念行事

- 1) 「上田高校関西同窓会30年の歩み」を冊子として上田高校、同窓会などに配布
- 2) 同窓会報のバックナンバーをホームページに公開中

上田高校関西同窓会令和4年度 活動計画

(令和4年9月1日～令和5年8月31日)

- ① 令和4年9月3日(土) 第32回総会・講演会を開催。参加者：25名

ZOOMによるオンライン会議を採用

講演 「日本の医療の現状と今後について」

講師 聖路加国際病院副院長 小宮山伸之氏

- ② 広報委員会編集による関西同窓会報を年2回(1月17日、7月17日)発行する。

1月号については、PDFファイル(ワード)を作成し、メールのある会員に送付する。紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付する。(編集会議にて企画)

- ③ 文化委員会主催による文化事業を年2回開催し、会員相互の交流を促進。

- ・ 第15回文化サロン 令和4年11月12日(土) 13:00～16:00 参加者：10名

テーマ：クリスマスについて考える

講師：武舎 一夫氏(73期) 関西同窓会文化委員長

場所：ホテル・アウイーナ大阪207号室

- ・ 春の文化交流会

中金堂再建の興福寺見学と奈良町散策

令和5年3月4日(土)

- ④ 上田高校同窓会本部会員大会をはじめ、関東同窓会総会、中南信支部総会などに代表が出席し、交流を深める。

- ⑤ 母校社会講座への協力

該当者無し

⑥ FACEBOOKなどのIT技術により会員交流の場づくりの拡充を行う。

(土屋広報委員長、他)

⑦ 上田高等学校の生徒が文化・スポーツなどの分野において、近畿地区で活躍する場合は応援する。

令和4年度 上田高等学校関西同窓会 予算案

期間(令和4年8月26日～令和5年8月25日)

単位:円

収 入			支 出		
科 目	4年度予算案	3年度実績	科 目	4年度予算案	3年度実績
前期繰越金	696,670	602,007	総会費用	10,000	20,000
総会費収入	0	7,000	会 報 費	180,000	134,982
年 会 費	150,000	244,000	通 信 費	10,000	0
特別年会費	30,000	32,000	渉 外 費	100,000	38,180
雑 収 入	100,000	107,400	事 務 費	15,000	3,000
利息収入	0	1	設立30周年 記念事業費	0	82,150
次期総会参加 費 前納金	70,000	0	雑 費	30,000	17,426
			予 備 費	30,000	0
			次期総会参加 費繰越分	70,000	0
			次期繰越金	601,670	696,670
合 計	1,046,670	992,408	合 計	1,046,670	992,408

上田高等学校関西同窓会 令和4年度 役員名簿

会 長	荻原 靖 74期	副会長	金澤 信男 67期
幹事長	隅田修一郎 64期	副幹事長	佐藤 則一 70期 堤 宏記 79期
会計長	尾崎 忍 76期		
監 事	竹内 俊隆 68期	顧 問	該当なし
企画委員会	委員長 尾崎 忍 76期(兼)		
	隅田修一郎 64期	金澤 信男 67期(兼)	上記役員全員
広報委員会	委員長 土屋 俊夫 83期		
文化委員会	委員長 武舎 一夫 73期	隅田修一郎 64期(兼)	
学年幹事	小泉 孝雄 49期	半田 仁志 50期	翠川 健彦 51期 大瀧 忠長 52期
	荒井 正自 53期	清水 克正 54期	若林 忠之 55期 大野せき子 56期
	中嶋 巖 57期	白井 彰彦 58期	伊倉 邦人 59期 山本 努 60期
	黒岩 屹 62期	丸山 文夫 64期	恩田 隆 65期 金澤 信男 67期
	知野 武文 68期	伊藤 秀一 70期	中村 智子 72期 武舎 一夫 73期
	荻原 靖 74期	尾崎 忍 76期	戸田 有一 79期 土屋 俊夫 83期
	近江 裕之 85期	高橋 路子 88期	

文化サロン

「クリスマスについて考える」を聞いて

石沢誠司(60期)

わたしはこれまで姫路市の日本玩具博物館のクリスマス展示を何回か見たことがあり、クリスマスについては興味があった。今回の武舎さんのお話は、キリストについて詳しく説明されていることに特徴があったと思う。クリスマスの美術作品に触れながら、受胎告知、聖母の訪問、降誕、ヘロデ王の不安、聖家族のエジプトへの避難など、詳しくお話された。

さて、なぜクリスマスが12月25日なのかは、キリストの誕生日が分からないので、太陽を崇拝するミトラ教で、太陽の誕生が12月25日であったから、ニケーア公会議(325年)で決めたのだと言う。つまり冬至が関係している。さらにスウェーデン語ではクリスマスを「ユール」というが、この語は古代ゲルマン民族の冬至の頃に行われた祭りのことだと言う。

なお古代中国では冬至の頃に行われた臘祭(ろうさい)という行事があった。ちょうどク



リスマスの時期である。穀物や獲物の収穫祭とも関係すると思われる。複雑な要素が習合したクリスマスが、キリストの降誕以外にどのような要素が絡んでいるかを解きほぐす作業は、キリスト教圏以外の文化圏で、より可能と思われる。武舎さんの今後の活動を期待したい。

ふるさとの話題

内堀繁利(長野県教育委員会教育長) 74期

上田高校の校長を最後に長野県の教員を定年退職し、その直後から現職に就くまで、長野県庁にある長野県教育委員会に高校改革推進の仕事でお世話になりました。これからする話は、いつのことだったか正確なことは忘れてしまったのですが、つい最近のことではないことだけは確かなので、おそらくこの間、数年前のことだと思います。

県庁勤務の私は、ある日、2階からエレベーターに乗りました。

ドアが開くと、中には、老夫婦と思われる二人だけがい

いて、奥の片隅に肩を寄せ合うようにして立っています。教育委員会のある8階のボタンを押そうとした私は、どの階のボタンも点いていないことに気がきました。つまり、二人は受



付のある1階からエレベーターに乗り込んだものの、行き先のボタンを押さなかったこととなります。エレベーターは、2階で呼んだ私のリクエストに応える形で、2階まで上って来たのです。

私は二人に尋ねました。「どちらまで行かれますか？」

女性の方が答えます。「食事をしようと思って県庁まで来たのですが、県庁の人でない私たちが食堂に行ってもいいんでしょうか？」

「もちろんです」私はそう言いながら、10階のボタンを押しました。

「食堂までご一緒しましょうか？」

「いいえ。大丈夫です。ありがとうございます」と、二人は深々と頭を下げました。その時の光景は、私の記憶に深く刻まれました。

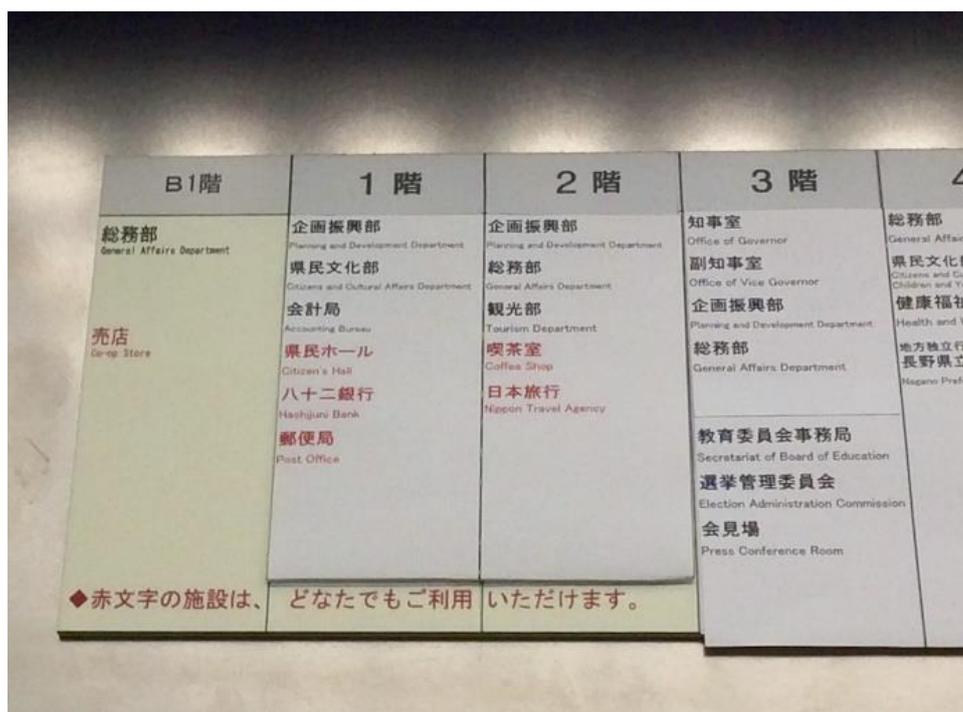
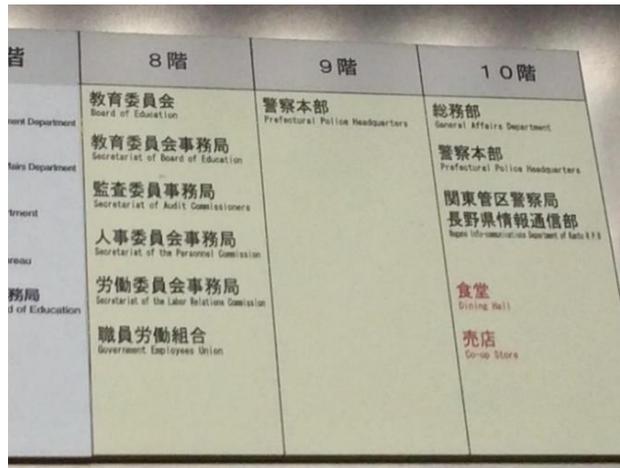
10階にある食堂は県職員でなくても利用できる。そのことをちゃんと示したらいいのに、と思ったことは間違いないのですが、それを施設管理の担当課に伝えたか、すっかり忘れてしまっていました。

そして、最近のある日のこと。

何気なく見上げたエレベーター内の案内板に、赤文字で、写真のような表記を発見したのです。人に優しい県庁になったものだと、心がちょっとほっこりしました。

その後、私はあることに気がきます。県庁には8台のエレベーターがあるのですが、そのすべての表示板に赤文字で施設の表示はあるものの、箱（エレベーター）によって、赤文字の施設が何を意味するのか、その表記がないものがあつたのです。せつかくいいことをしたのに中途半端ではもったいない。そう考えて、今度は確実に担当課に連絡をしました。

数日後、「赤文字の施設は、どなたでもご利用いただけます」と、すべてのエレベーターに書かれていました。小さなことですが、県民に寄り添う行政の心地よさを感じました。



関西この人

予防医療の提供に向けて

86期 山本 寛

大学卒業後に入社した生命保険会社の業務で数年前に関西勤務となり、兵庫県尼崎市に転居してきました。しかし関西に転居してからも、福岡県等に単身赴任する期間もあったことから、今年（2022年）初めて関西同窓会に参加させていただくことができました。

2020年から生命保険会社の関連病院に出向し、人間ドック等の健診実施部門「予防医学センター」の運営に携わっています。折しも新型コロナウイルスが世界に広がったタイミングであり、病院での診療業務にも様々な影響が出ました。ウイルス感染を懸念した患者の受診控えも起こりました。人間ドックや健康診断については、当局からの事務連絡により「実施の必要性を検討」するよう指導され、一時業務を停止せざるを得ない状況でした。その後いくつかの波を経て、現在は新型コロナウイルス禍前の状態に戻りつつありますが、今年7月の第7波の折にはやはり受診控え、あるいは受診者がコロナ感染したことによる健診予約キャンセルが増える状況が続いています。

さて、同窓会会員の皆様は日頃からご自身の健康管理には十分ご留意されていることと思います。しかし、どんなに気を付けても病気に罹ってしまいますし、それは仕方のないことです。健康診断で一つの病気が見つかった場合、その病気をフォローするために医療機関を定期的に受診することで、その他の体況変化を医師が気付きやすくなることもあり、「一病息災」につながることもあります。

また超高齢社会の中で、健康寿命を延伸するための生活習慣病予防や、病気の前段階にあたる未病のケアへの取組みといった予防医療の重要性が増しています。健康診断を通じて、適切なアドバイスのもとで生活習慣を改善し、病気の発症を未然に防ぐことにつながることが今後ますます重要となってきます。

これらを踏まえ、適切な健診サービスと、受診者の皆様の行動変容につながる効果的な生活指導を提供できるよう体制整備を行っていきたくと考えています。



令和5年春の文化交流会開催のご案内**中金堂再建の興福寺見学と奈良町散策**

平成10年に策定された「興福寺境内整備構想」に基づき、現在興福寺の再建整備が進められていますが、その中心事業である中金堂再建工事が平成30年に終了し、興福寺境内の中心に天平時代の大伽藍が蘇りました。令和5年の春の文化交流会では、復興が進む興福寺と蘇我馬子創建の飛鳥寺が平城京遷都に伴い移転した元興寺を見学した後、町家などの歴史的建築物が残る奈良町を散策し、春鹿で有名な酒蔵「今西清兵衛商店」で利き酒を楽しみます。

1. 開催日 令和5年3月4日(土)
2. 集合場所 近鉄奈良駅地下1階東改札口
(近鉄奈良駅には東改札口と西改札口がありますのでご注意ください)
3. 集合時間 9時45分 時間厳守
4. 行程 午前：興福寺見学(中金堂、東金堂、国宝館訪問予定)
昼食：興福寺近くの料理店にて会食を予定
午後：元興寺見学、奈良町散策、酒蔵「今西清兵衛商店」にて利き酒
5. 解散場所 近鉄奈良駅 16:00頃
6. 会費 6,000円 (当日集金します：寺院拝観料、昼食込)
7. 持ち物 雨具、健康保険証、飲物等をご持参ください。
8. 注意事項 当日3キロ程歩きますので、歩きやすい靴でご参加下さい。

*雨天時：開催します。悪天候等により開催不可能の場合は当日朝8:00までにご連絡致します。

9. 参加申込み 準備の都合上、2月28日(火)までに E-mailもしくは電話にて、お申し込み願います。

10. 申込み先 〒635-0013 大和高田市昭和町8-11-226 武舎 一夫

E-mail : pretrejean@nifty.com TEL : 090-9851-5778

